新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う理学療法臨床現場への影響調査

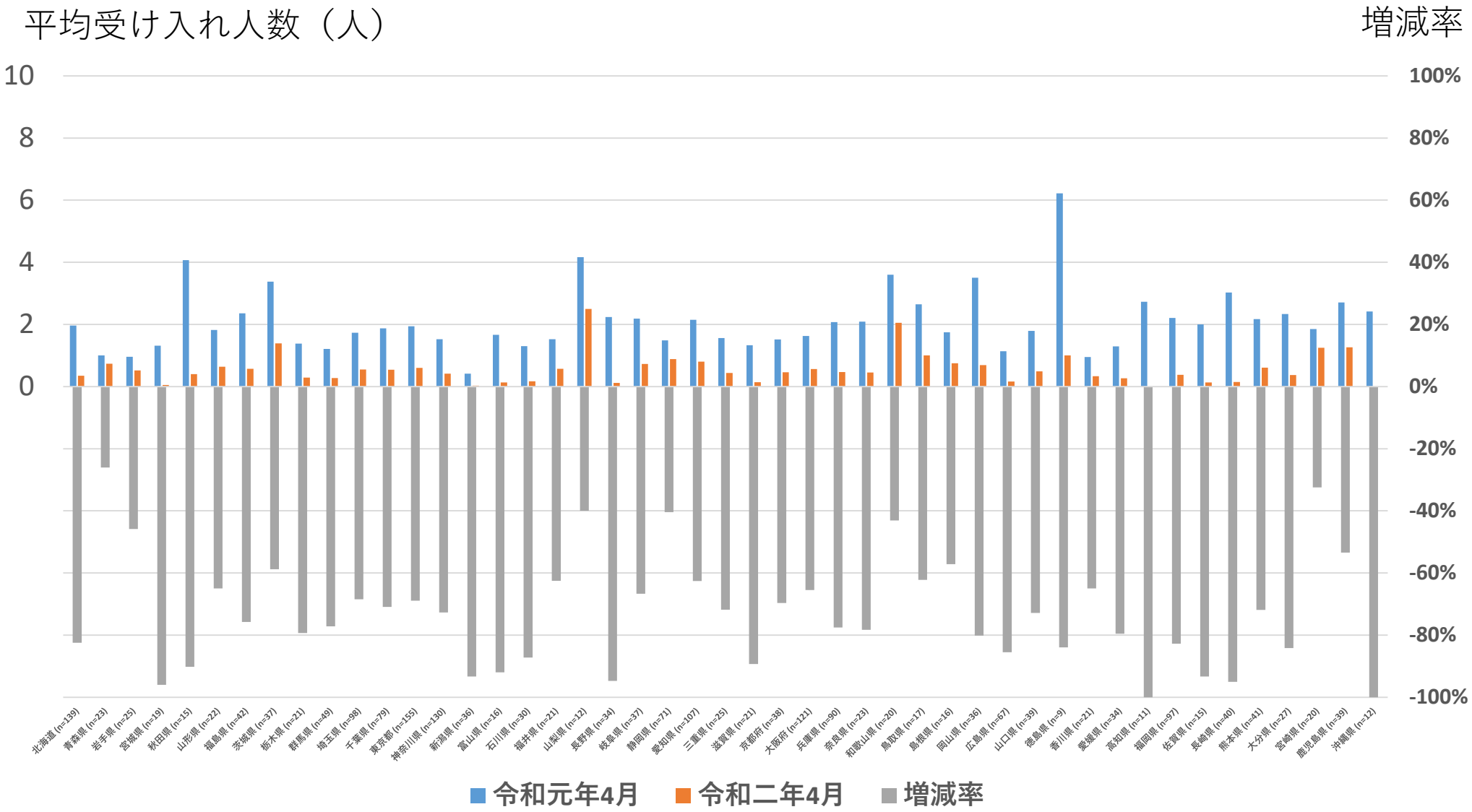
～実習～

公益社団法人
日本理学療法士協会
JPTA
Japanese Physical Therapy Association

調査結果
臨床実習に対する影響について

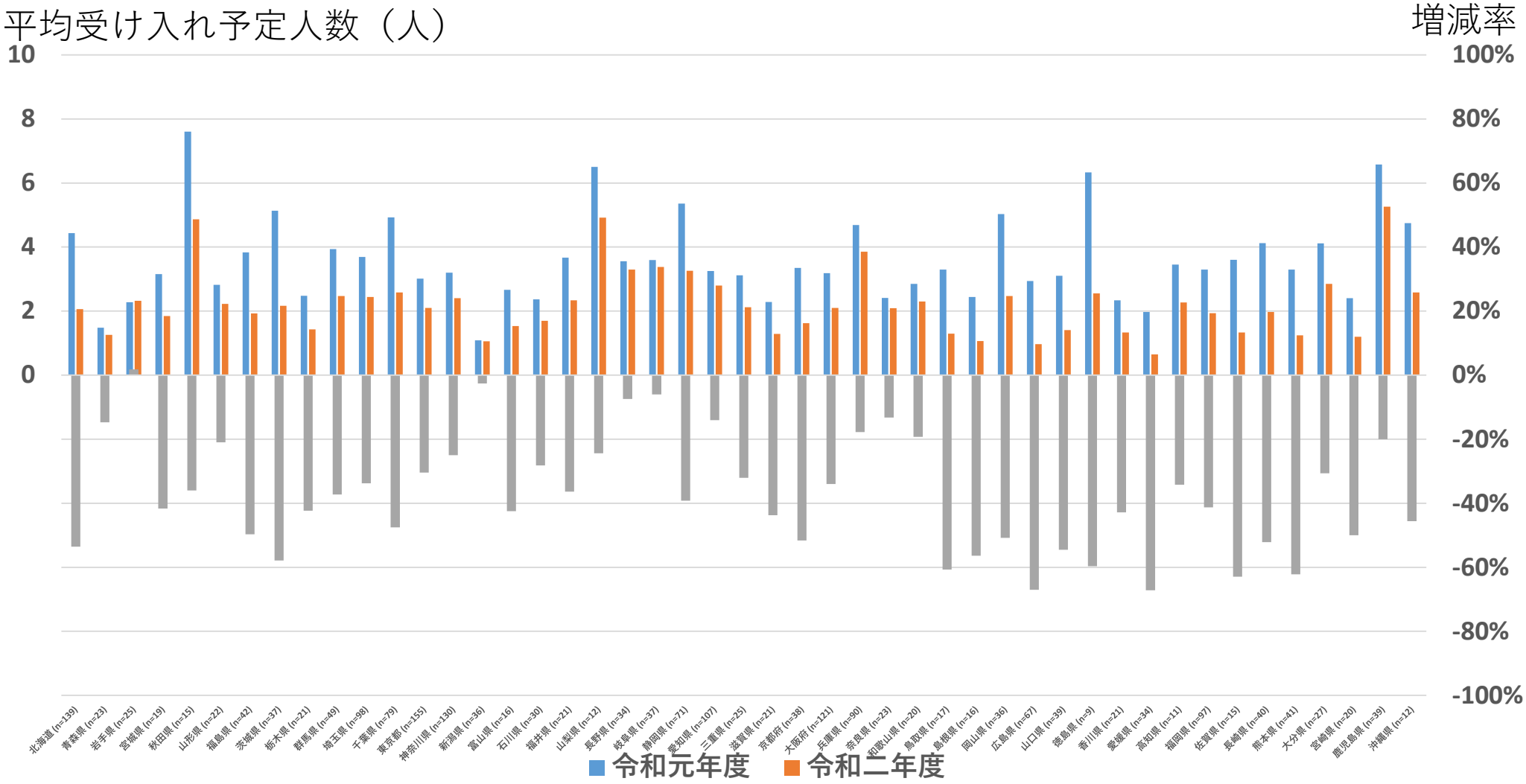
臨床実習受け入れ人数（理学療法士のみ）の増減率

Q　昨年と今年の4月の臨床実習受け入れ予定人数（理学療法士のみ）をお答えください。



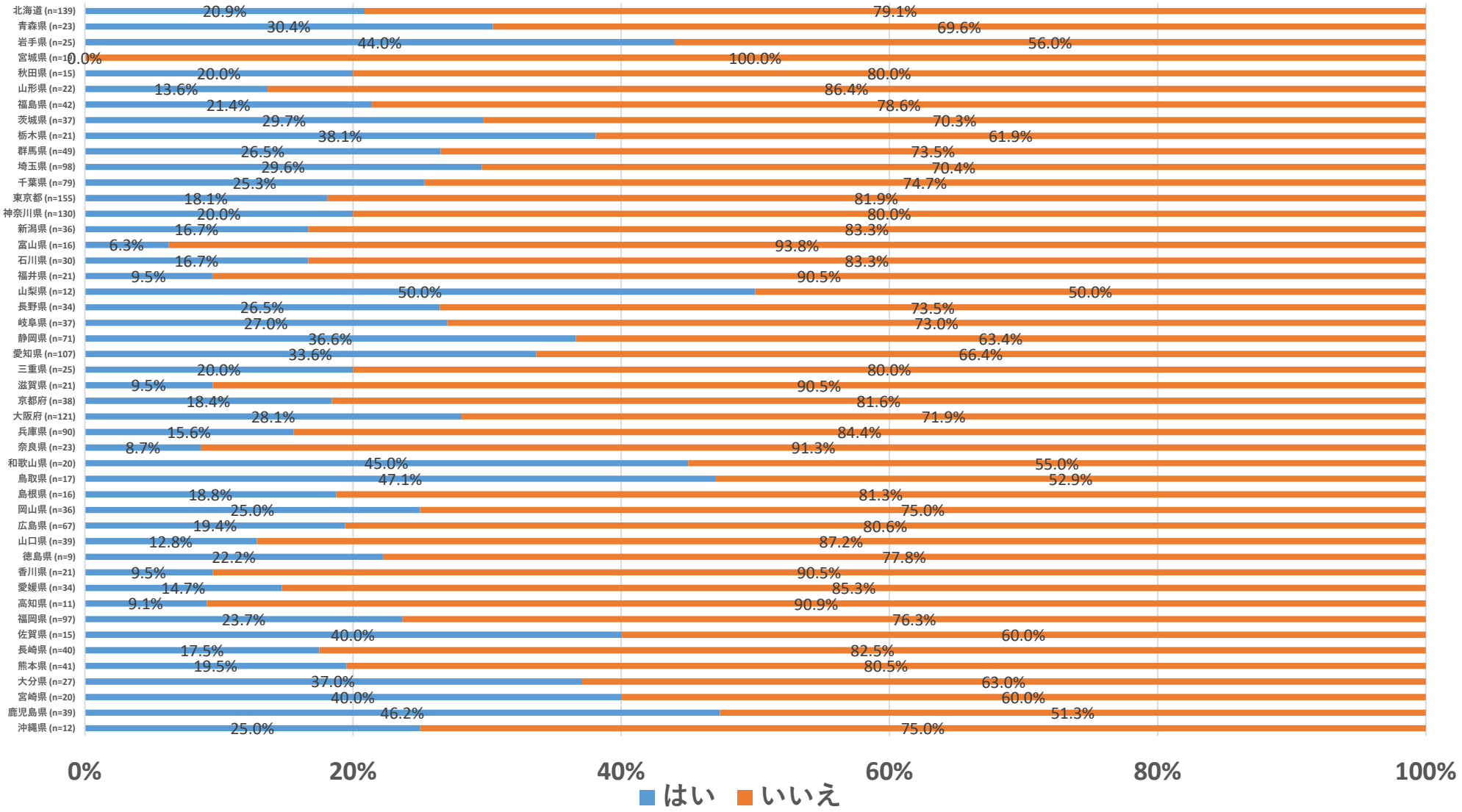
臨床実習受け入れ人数（理学療法士のみ）の増減率

Q　昨年と今年の4月末時点における当該年度の臨床実習受け入れ予定人数（理学療法士のみ）をお答えください。



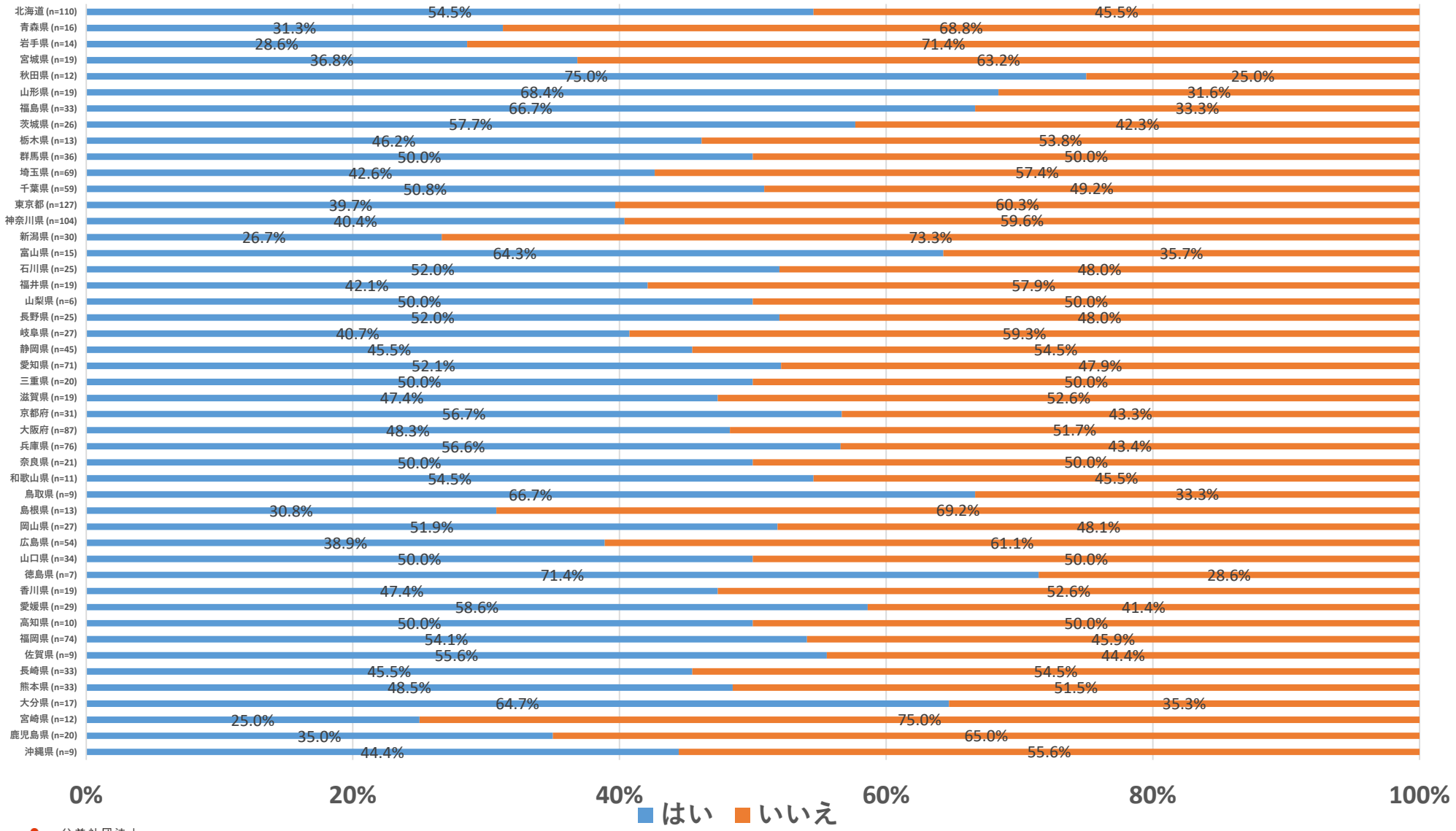
令和2年4月以降の施設として臨床実習受け入れ状況

Q　令和2年4月以降、施設として臨床実習受け入れを行っていますか。



受け入れを行っていない理由

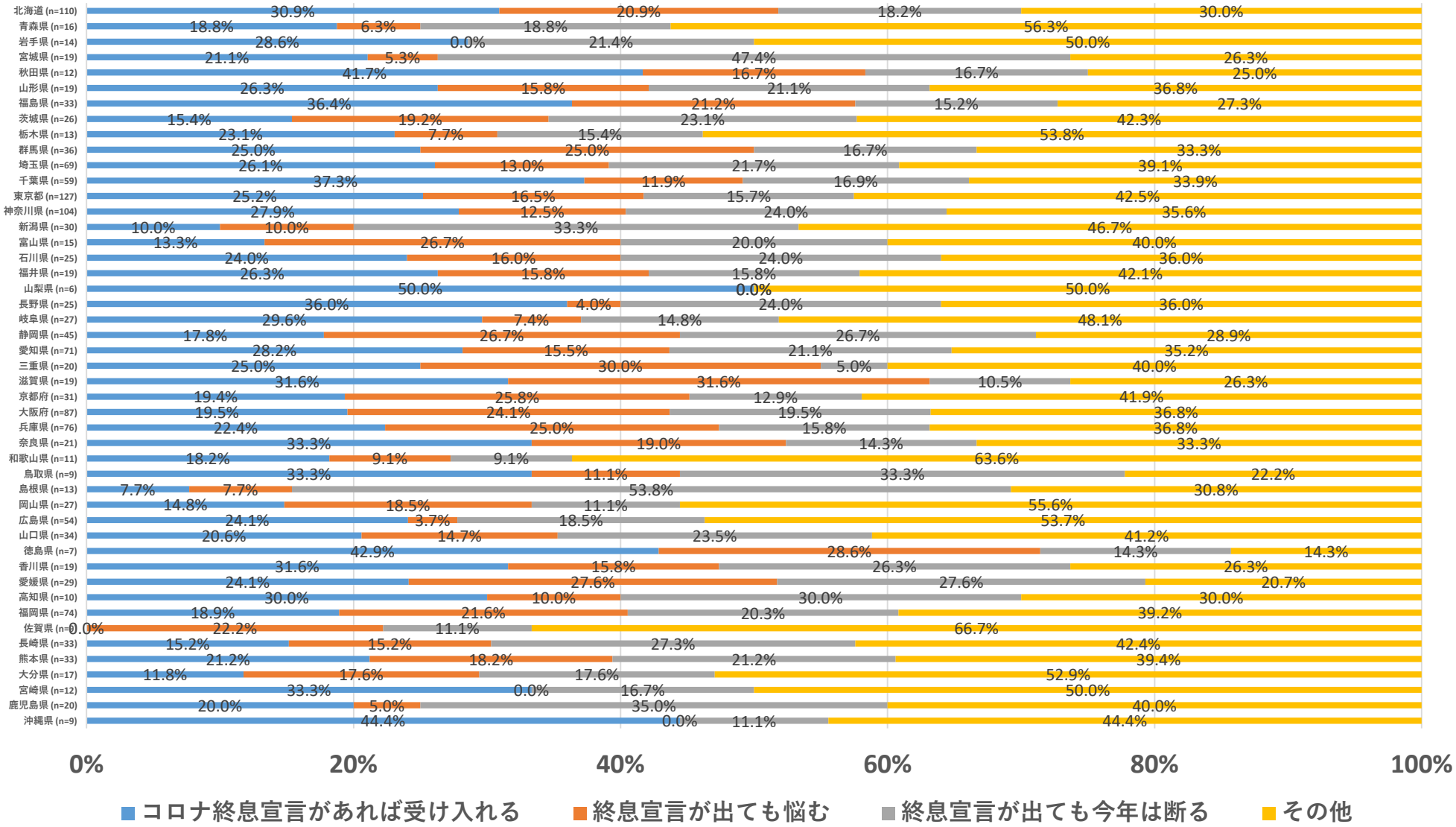
Q　受け入れを行っていないのは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものですか。



公益社団法人
日本理学療法士協会
Japanese Physical Therapy Association
JPTA

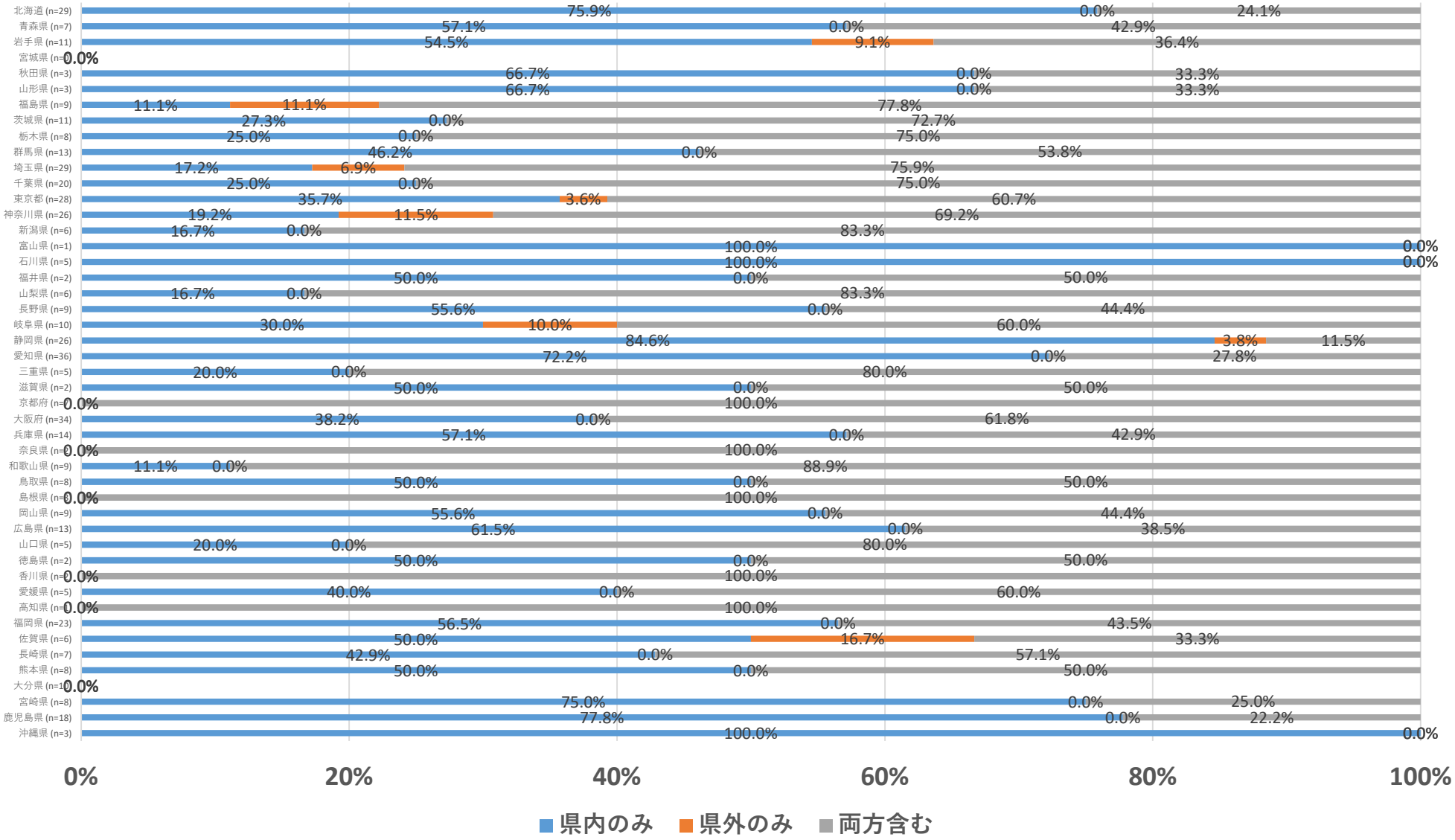
臨床実習を受け入れる状況

Q　どのような状況になれば臨床実習を受け入れますか。



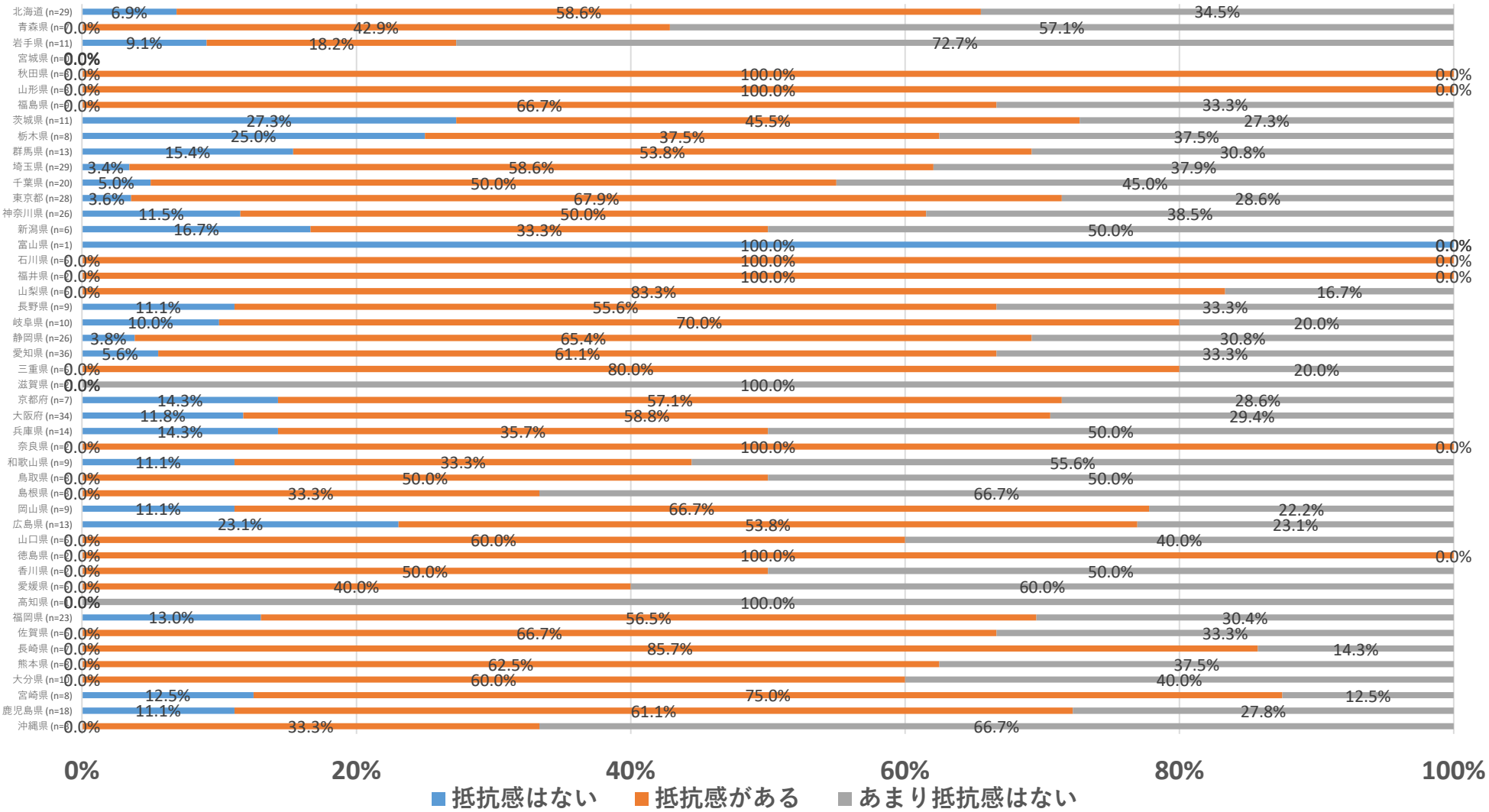
受け入れ学生の所属地

Q　受け入れ学生の所属地についてお答えください。



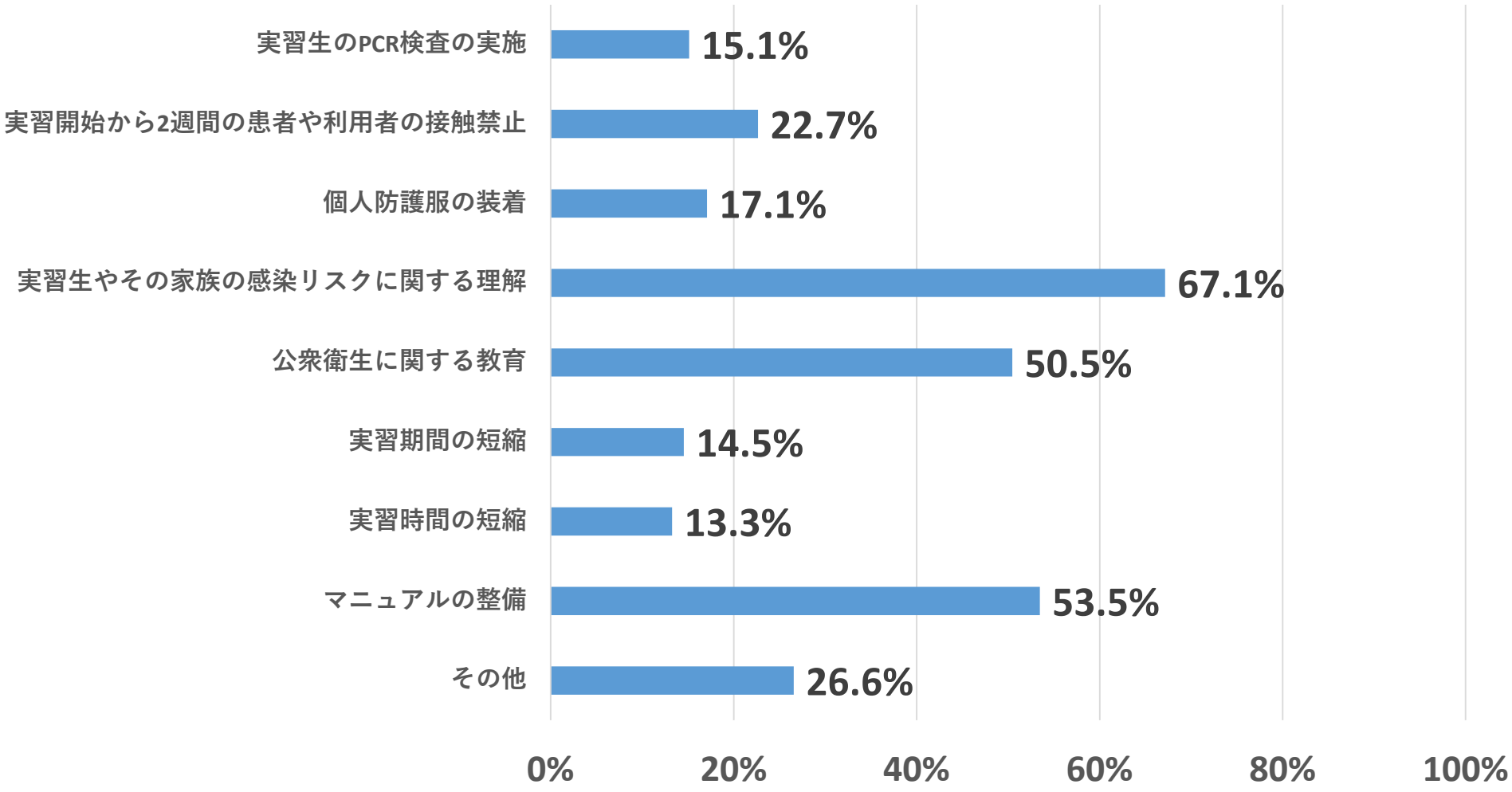
臨床実習生を受け入れることに対する抵抗感の有無

Q　臨床実習生を受け入れることに対する抵抗感（感染症リスクへの不安感）についてお答えください。



実習生受入に施設側として必要な条件

Q　実習生を受け入れる際に、施設側として必要な条件をお答えください。　※複数選択
n＝2,097



新型コロナウイルス感染症が臨床実習に与えている影響等について（1）

挙げられていた記載内容

●今年度の実習への影響

- 依頼元の養成校より実習中止の連絡がきている。
- 実習期間の短縮要請が養成校よりあった。
- 施設としては受け入れるつもりだが、養成校側が取り下げている。
- 受け入れたいが、施設としては医療が優先となるので、感染者を出さないようにしなくてはいけないため受け入れは難しい。
- どういった状況になれば受け入れしてよいものか分からない。
- リハビリ室がコロナ外来となり教育できる環境でなくなった。
- コロナ終息まで受け入れは難しい。
- 延期することで一時期に実習生が集中してしまう見込み。
- 実習生の感染対策に対する意識が薄いようにも感じ、病院側として不安がある。
- 実習期間中に罹患する可能性があるため、感染リスクについて学生や家族にご理解いただく必要がある。

新型コロナウイルス感染症が臨床実習に与えている影響等について（2）

挙げられていた記載内容

●　雇用や就労に関する影響

- 新規採用が減少する可能性がある。
- 次年度採用者の新人教育が大変になる。
- 新卒者は経験実績がなく就職するため配慮が必要と思われる。
- 就職後の知識不足。
- 臨床実習の経験がない者がいると、新人教育システムの見直しが必要となる。
- 来年の新卒はあまり積極的に採用したくない。卒後教育が例年より大変になると考えられるため。